

ラベルプリンタ

仕 様 書

令和 4 年 8 月

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター

I. 概要

1. 調達物品及び構成内訳

(構成内訳)

I. 注射薬払出システム用ラベルプリンタ 3台

以上、搬入・据付・配線・調整を含む。

2. 技術的要件の概要

本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

以下に示す要求要件は当センターが必要とする最低限の要求要件を示している。

II. 調達物品に備えるべき要件

(性能、機能に関する要件)

1. 注射薬払出システム用ラベルプリンタについては、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 既存稼働している P H C 製ラベル注射箋ユニット (Medication Picking System compact series) に搭載でき機器連動が可能であること。
- 1-2 ラベルプリンタから自動で出力する機能を有していること。
- 1-3 注射ラベルは施用単位ごとに発行でき、流れているトレー内に自動投入できること。
- 1-4 プリント方式は熱転写方式であること。
- 1-5 プリント速度は 150mm/秒以上であること。
- 1-6 幅 104mm 以下の連続ロール用紙を使用し、カット機能を有すること。
- 1-7 施用単位ごとに施用ラベルを発行できること。
- 1-8 ラベル・注射せん投入ユニットに搭載できること。
- 1-9 1 台は予備機とし、通常は再発行印字などが行えること。
- 1-10 1 台は外来注射せん発行場所に設置すること。

III. その他

(性能・機能以外に関する要件)

1. 設置条件等は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 本機器は、当センターの指定する場所に設置すること。
- 1-2 当センターが用意した一次側設備(空調設備、電気設備、給排水設備、ネットワーク設備)以外に必要な設備工事等の経費は全て本調達に含むものとする
- 1-3 本仕様書に関する設計、製作、輸送、試験検査等は、関係する法令、規格、基準、設置場所における諸規定に基づいて行うこと。
- 1-4 設計・製作は本仕様書に従って行うものとし、仕様書に記載されていない事項又は仕様書につ

いて、疑問が生じた場合は、その都度担当者と協議すること。

1-5 搬入に際しては、壁、床、エレベータ等を傷つけぬように、合板等で養生した後に搬入すること。
傷つけた場合は直ちに担当者及び設置場所管理者に報告し、その指示に従うこと。

1-6 設置場所での作業は担当者及び設置場所管理者に連絡を取り、その指示に従うこと。

2. 保守体制等は、以下の要件を満たすこと。

2-1 検収引き渡し後1年以内に物品に瑕疵が生じ、その責任が製造業者に有ると認められた場合は
無償で修理または取り替えること。

2-2 アフターサービス・メンテナンスの体制が整備されていること。

2-3 緊急故障時には、早急に復旧できる体制を有すること。

3. 検収条件

3-1 納入場所において担当者立合いのもと、仕様書に基づき試験・検査の可否の確認を行う。

4. 職員研修、技術支援

4-1 薬剤師が操作方法を熟知し、確実な調剤体制が出来るまで受注者が責任を持って研修技術支
援を行うこと。

4-2 本機器の日本語による操作マニュアル、及びその電子データを1部提供すること。

5. 納入期限

令和5年3月31日

6. 設置場所

大阪府中央区大手前3丁目1番69号

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター 1階調剤室

7. その他

7-1 不明点等があれば担当者の指示を仰ぎ、その旨文書にて記録を作成し報告・承認を得ること。

7-2 機器構成を含む詳細については、担当者の指示に従うこと。

7-3 製品の瑕疵について明らかになった場合、使い勝手等を含む性能が保証できるよう速やか
に対処すること。

7-4 証期間内外を問わず、故障・不良等が発生した場合には速やかな対処が可能であること。
また原因、対処方法を速やかに担当者に報告すること。

7-5 この契約において作成され、また担当者から提出された資料等は、契約目的以外に使用し
ないこと。ただし、予め担当者の承認を得た場合にはこの限りでない。